

平成27年度決算の概要について

1 財務諸表

(単位:百万円)

区分	項目	H26	H27	差引
貸借対照表	資産	15,813	15,560	▲253
	負債	2,423	2,529	106
	純資産	13,390	13,030	▲360
	当期末処分利益	56	59	3
損益計算書	経常費用	3,073	3,122	49
	経常収益	3,070	3,091	21
	臨時損失	—	—	—
	当期純利益(損失)	▲3	▲31	▲28
	目的積立金取崩額	59	91	32
	当期総利益	56	59	4
収支決算	収入計	3,098	3,275	177
	支出計	3,041	3,197	156
	収支差	56	78	22

(注) 金額は単位未満を四捨五入しており、差引は必ずしも一致しない。

2 決算の概要

○貸借対照表は、資産、負債及び純資産を記載し、法人の財政状態を表示

(増減状況) 建物・構築物・工具器具備品等が減価償却により減となったこと等から資産が減少。

寄附金債務が前年度比19百万円増、未払金が前年度比96百万円増、学部等設置(四大化)事業に伴う建設仮勘定見返施設費が前年度比113百万円増等により負債が増加。

損益外減価償却累計額が県から出資を受けた固定資産の減価償却等により減となったことから純資産が減少。

○損益計算書は、法人の運営状況を表示

(増減状況) 修繕費等の減により業務費が減となった一方、給与改定等により人件費が増となったことから経常費用が増加。

寄附金収益が旧NEAR財団寄附金の取り崩し等により前年度比22百万円増となったこと等から経常収益が増加。

当期純利益(損失)は、前年度比28百万円減の▲31百万円。

当期総利益は、当期純利益(損失)に目的積立金取崩額91百万円を加え前年度比4百万円増の59百万円。

○収支決算書は、法人予算に対する実績を表示

(増減状況) 運営費交付金収入等の減の一方、特殊要因経費補助金の増、前中期目標期間繰越積立金の取崩しの増等により収入計が増加。

修繕費の減等により業務費が減となった一方、学部等設置(四大化)事業の増により支出計が増加。

○剰余金の額は、59,266千円となった(目的積立金として次期へ繰越承認申請予定)。